

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

| 分野                         | 景気の現状判断 | 業種・職種                   | 判断の理由  | 追加説明及び具体的状況の説明   |
|----------------------------|---------|-------------------------|--------|--|
| 家計<br>動向<br>関連<br><br>(四国) |         | -                       | -      | -  |
|                            |         | 一般小売店〔書籍〕（営業担当）         | 販売量の動き | ・店頭売上、外商売上共に前年同月並みとなった。  |
|                            |         | 百貨店（販売促進）               | 単価の動き  | ・消費税引上げへの意識の高まりもあり、高額品の動きが良くなっている。   |
|                            |         | 百貨店（営業管理担当）             | お客様の様子 | ・10月の消費税の引上げを控え、特に身の回り品と美術品などの高額商品の購買の動きは上昇傾向にある。  |
|                            |         | コンビニ（店長）                | 単価の動き  | ・来客数は前年比で微増しており、客単価は前年比で7%増加している。  |
|                            |         | 家電量販店（副店長）              | 販売量の動き | ・6月に入ってからテレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機の大型商品の販売が上向きになってきている。売上高は前年比108%、来客数は前年比102%、客単価も前年比104%で堅調に推移している。   |
|                            |         | 乗用車販売業（営業担当）            | 販売量の動き | ・消費税の引上げ前の駆け込み需要により、販売台数が増えている。  |
|                            |         | その他専門店〔酒〕（経営者）          | 来客数の動き | ・父の日に少し売上は上昇したが、その前後だけで、余り良くない。  |
|                            |         | 商店街（代表者）                | それ以外   | ・長年民間サイドで積み上げてきた継続性の高いイベント事業がそれぞれ引き続き順調に推移していて心強いが、今の行政サイドの街づくりに対する時代感覚のギャップが大きいいため、更にその先に発展させることに苦労している。民間同様これからますます行政サイドの質の向上、時代感覚、見識等の改善が不可欠になってきている。 |
|                            |         | 商店街（事務局長）               | 来客数の動き | ・暑い日や雨の日が少なく過ごしやすかったこともあり、季節商材が残り動かなかった。ゴールデンウィーク中の消費疲れをまだ引きずっているようでもあり、消費はさえない。   |
|                            |         | 百貨店（企画担当）               | お客様の様子 | ・お中元の先行受注は比較的堅調だが、これが継続するかは判断できない。   |
|                            |         | 百貨店（営業管理担当）             | 販売量の動き | ・衣料品はホテル催事やクリアランスセールを実施したが、苦戦が続く。一方で時計、宝飾を中心とした高額品は順調に推移している。  |
|                            |         | スーパー（企画担当）              | 販売量の動き | ・商品単価の上昇が続いているため、客の買い回りが続いている。来客数は目立って減ってはいないが近隣店舗と価格競争のある商品の売上が減る傾向にある。   |
|                            |         | スーパー（財務担当）              | 来客数の動き | ・競合店の一時的な閉店もあり、来客数がやや回復している。   |
|                            |         | 衣料品専門店（経営者）             | 単価の動き  | ・景気は、3か月前と余り変わらないが、悪くはない。来客数は余り変わらないが、客単価は、前月から引き続き上昇している。   |
|                            |         | 衣料品専門店（経営者）             | 販売量の動き | ・例年は6月の第3週頃からバーゲンセールを行っていたが、今年是在庫のバランスが良かったので、7月からバーゲンセールを行うことにした。そのため、例年と比べると売上は減っている。平日に関しては、横ばいで推移している。   |
|                            |         | 衣料品専門店（営業責任者）           | 販売量の動き | ・前年に比べ売上高、来客数共に減少している。店前の通行量の減少もあるが、客の購買意欲が低下しており、例年と同様の接客をしても購入点数が減少している。   |
|                            |         | 乗用車販売店（従業員）             | 販売量の動き | ・第1四半期の新車受注状況は対前年を上回るペースで推移した。   |
|                            |         | 乗用車販売店（役員）              | 販売量の動き | ・消費税の引上げが迫ってきているが、大きな変化が見えない。  |
|                            |         | その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人） | お客様の様子 | ・客は早くもセール待ちの様子で、購買意欲は感じられない。   |

|                            |                |            |   |   |
|----------------------------|----------------|------------|---|---|
|                            | 観光型旅館（経営者）     | 販売量の動き     | ・大型連休が4～5月にかけてあったが、6月は通常の経営環境になった。景気は悪くないが、当温泉地は各旅館の建て替えが行われており、宿泊客の収容力が減っている。また、温泉本館が工事中で、当地の人气が落ちているわけではないが、あと1年くらいは厳しい状態が続くだろう。当市全体で見ると観光客が来ているので悲観することはないが、かなりの努力がいる状態である。  |   |
|                            | 都市型ホテル（経営者）    | 来客数の動き     | ・宿泊、レストラン共に来客数が減っている。物価の高騰を背景に、値上げを若干行った影響もあるが、全体的な売上の推移は前年と変わらない。景気はやや下向きの気配がある。   |   |
|                            | 旅行代理店（営業担当）    | 販売量の動き     | ・少しは良くなってきているが、平成30年7月豪雨の影響がどのように出るか不透明である。若干、販売は増加しているが、余り大きくは変わらない。   |   |
|                            | タクシー運転手        | 来客数の動き     | ・この春、お遍路さんが少しは前年より増加すると期待したが、それほど仕事がなく、全体的に前年より減少している。街で仕事をする機会も多く、街も夜は人が出ていないので、なかなか収入は増えない。   |   |
|                            | 通信会社（支店長）      | 販売量の動き     | ・特段の変化は見られない。   |   |
|                            | 美容室（経営者）       | お客様の様子     | ・例年、梅雨時期には来客数が増えるものだが、今年は梅雨入りが遅く、来客数が少ない。   |   |
|                            | 設計事務所（所長）      | 単価の動き      | ・建築単価が下落する気配がない。  |   |
|                            | 商店街（代表者）       | それ以外       | ・10月の消費税引上げの準備等、行政からのアプローチもあり、商店街の各店の店主のマインドがかなり低下している。また、選挙に伴う政局の不安定化もあるため、消費者にとっても先行きは不安である。  |   |
|                            | 商店街（代表者）       | 販売量の動き     | ・前年同月比で売上高、来客数共に減少している。経済の不透明感を感じており客動向も不安定な状況にある。  |   |
|                            | 一般小売店〔生花〕（経営者） | それ以外       | ・大雨が降ると繁華街の出入りが大幅に減る。特に夜の飲食店は祝い用の商品を配達に行ったときでも来店者が少ない店が多い。平成30年7月豪雨のイメージがあるのか、雨の日はこの店も客がいない。  |   |
|                            | コンビニ（店長）       | 来客数の動き     | ・来客数の減少が止まらない。  |   |
|                            | コンビニ（総務）       | 来客数の動き     | ・前月までは来客数は前年割れながら、客単価で売上高をカバーし、前年比をクリアしていたが、今月に入り客単価でカバーしきれなくなり、売上高は前年割れとなった。   |   |
|                            | 乗用車販売店（従業員）    | 販売量の動き     | ・月の後半には来客数は伸びてきた。ただ消費税の引上げまでに買換えたいとの話が多い。   |   |
|                            | 一般レストラン（経営者）   | 来客数の動き     | ・外食関係は、5月後半～7月初旬にかけて客足が遠のく傾向がある。毎年の慣例だと受け止めている。   |   |
|                            | 通信会社（技術）       | 販売量の動き     | ・当社サービスの中で、利益率の高いサービスを解約する客が増加している。   |   |
|                            | 競輪競馬（マネージャー）   | 来客数の動き     | ・主要な人気レースの減少や、株価低迷による企業業績の不振に伴う、所得収入の伸び悩みからレジャー、ギャンブルの意欲が低下しており、売上高の下降傾向が強くなっている。   |   |
|                            | x              | タクシー運転手    | お客様の様子  | ・乗客数、売上高共に20%程度低下した。人は外出しているが、路上に乗車待ちの客が立っていない。 |
| 企業<br>動向<br>関連<br><br>(四国) | -              | -          | -   |   |
|                            | 繊維工業（経営者）      | 受注量や販売量の動き | ・6月中旬までは、新製品効果、店頭の活況により全国的に受注が順調であったが、下旬に掛けてやや低調である。この原因として、「当地タオル技能実習生の不法就労」に関するテレビ報道の影響があるのだろう。組合員の中の、一協力縫製会社によるものであるが、当地タオル全体の問題と捉えられ、多くの取引先からサプライチェーン全体の取引証明書の提出等、業界全体に大変な混乱と出荷停滞がみられ、しばらくは影響が出るだろう。同業者の報告でも、特に企業別注などでは、他産地、海外などへの発注変更などもあるとのことである。 |   |

|                      |                    |              |   |
|----------------------|--------------------|--------------|---|
|                      | 木材木製品製造業（営業部長）     | 受注量や販売量の動き   | ・受注は好調が継続している。前年比10%以上増加して推移している。ハウスメーカーも受注残を年内は持ってあり、しばらくは好調な受注が継続する。  |
|                      | 輸送業（経営者）           | 取引先の様子       | ・取引先の話す内容が前向きになっている。  |
|                      | パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き   | ・売上は思ったほど上昇していない。新規開拓した海外の客も、なかなか受注につながらない。   |
|                      | 鉄鋼業（総務部長）          | 受注価格や販売価格の動き | ・受注価格、販売価格共に、上昇はやや頭打ちとなっている。  |
|                      | 一般機械器具製造業（経理担当）    | 受注量や販売量の動き   | ・地域によるばらつきが継続しており、大きな変化はない。   |
|                      | 電気機械器具製造業（経営者）     | 受注量や販売量の動き   | ・太陽光発電の固定価格買取制度の見直しの関係で、数字が厳しいという環境は変わっていない。何とか営業努力で目標をクリアしているが、いろいろな形で採算は合わない。大変厳しいものがある。  |
|                      | 電気機械器具製造業（経理）      | 受注量や販売量の動き   | ・製品別には変動がみられるものの、販売総量としてはおおむね同程度で推移している。  |
|                      | 建設業（経営者）           | 受注量や販売量の動き   | ・県や市の公共事業の発注が少ない。   |
|                      | 建設業（経営者）           | 競争相手の様子      | ・今年度の新人採用募集でも、依然として採用意欲が旺盛な同業他社が多い。また、1年間のうち、最も閑散期ともいえるこの時期に、研修会や福利厚生活動も例年同様に活発である。   |
|                      | 金融業（副支店長）          | 取引先の様子       | ・大型連休を経た試算表をみる機会が増えてきたが、想像していたほどの動きはみられない。  |
|                      | 公認会計士              | 取引先の様子       | ・今月の各法人の決算、試算表等を分析した結果、前年比でほとんど動きがない。業種によっては、前年より良くなっているところもあるが、逆に前年より悪くなっているところもあり、平均でみると景気に変動がない。   |
|                      | 農林水産業（職員）          | 取引先の様子       | ・取引先の多くが株主総会を終了したが、赤字決算となった卸売会社が前年に比べ増加している。6月も梅雨入りが遅れ、好天に恵まれたことから青果物の市場入荷は安定しており、価格も前年同期を下回っている。   |
|                      | 建設業（総務）            | 取引先の様子       | ・案件が増えていない。   |
|                      | 輸送業（営業）            | 受注量や販売量の動き   | ・提携する都市圏の運送事業者の中で、土曜日、日曜日の集荷や配達を取りやめたり、あるいは制限を掛ける動きが各地で出始めた。そのため、週末や週初めに四国に到着する小口積合貨物の取扱物量が減少傾向にある。貨物の集荷や配達に制限を掛ける動きは、働き方改革への対応を推進するためのもので、今後は現在よりも拡大するだろう。 |
|                      | 輸送業（経理）            | 受注量や販売量の動き   | ・製造業を中心に受託輸送量が減少傾向にある。  |
|                      | x                  | -            | -   |
| 雇用<br>関連<br><br>(四国) |                    | -            | -   |
|                      |                    | -            | -   |
|                      | 人材派遣会社（営業）         | 周辺企業の様子      | ・人材不足の状況は変わらないが、企業では新卒採用面接が年々前倒しとなり、就職率も向上していく傾向にある。学生のスキルも非常に高くなっている分、就職意欲の低い学生と大きく二極化されている。景気の良しあしも個々の立場で二極化されている。  |
|                      | 職業安定所（求人開発）        | それ以外         | ・5月の有効求人倍率は1.44倍で、3か月前と比べて0.29ポイント減少しているが、例年4～6月は、年度末より数値が減少する傾向にあり、前年同月よりは高い数値となっているため、良くもなく悪くもない。   |
|                      | 民間職業紹介機関（所長）       | 雇用形態の様子      | ・公共の委託訓練の受講生の多くはパート、派遣社員、契約社員等で、非正規で働いている人が多い。委託訓練で少しでも知識、技能を身に付け、正規社員の道を目指しているが、なかなか難しいようだ。しかしながら、多くの人は必死の思いで、就職活動をしている。                                   |
|                      | 学校〔大学〕（就職担当）       | 求人数の動き       | ・内々定を得て、就職活動を終了する学生も多くなっているが、求人の数は多い状況で推移している。  |

|   |                  |         |   |
|---|------------------|---------|---|
|   | 人材派遣会社<br>(営業担当) | 求職者数の動き | ・米中貿易摩擦の影響で生産調整する企業が増え、求人が止まってきている。           |
|   | 求人情報誌(営業)        | 採用者数の動き | ・引き続き人材難の企業が多く、業務に支障を来たすレベルまで不足している企業が増えつつある。 |
|   | 新聞社[求人広告](担当者)   | それ以外    | ・今期に入り広告予算を縮小する客が多くなってきた。                     |
| x | -                | -       | -   |